

第12回協会賞 普及賞

■受賞者と受賞理由

□杉沢 充

当協会設立時の会員応募活動において、企業、大学等の研究機関に精力的に働きかけを行い、多数の賛同に尽力された。技術委員会委員として免震構造等の普及・発展に貢献された。

□小幡 学

当協会の社団法人化にあたり、法人化委員長として旧建設省と折衝し、社団法人設立に尽力された。協会理事として免震構造等の普及・発展に貢献された。

□三浦義勝

維持管理委員長として、免震構造の機能を永く維持するための維持管理基準の制定と基準書作成・発行に尽力された。免震建物の長期間の安全性を追求するなど普及・発展に貢献された。

□鈴木哲夫

基盤整備委員長として、協会事業収支の基本的考え方を構築され、現在の協会基盤を整備された。普及委員会社会環境部会の委員長として免震建物のライフサイクルコストの考え方を提案され、免震建物の普及・発展に貢献された。

□鳥居次夫

協会会誌の編集委員会では永年にわたって献身的に活動された。当協会出版の「はじめての免震建築」の編集幹事を担当するなど幅広く協会活動に協力され、免震建物等の普及・発展に貢献された。

□小山 実

協会会誌の編集委員会では永年にわたって献身的に活動された。当協会出版の「はじめての免震建築」の編集幹事を担当するなど幅広く協会活動に協力され、免震建物等の普及・発展に貢献された。

□猿田正明

協会会誌の編集、メディアWG、協会創立記念事業等で献身的に活動された。当協会出版の「はじめての免震建築」の編集幹事を担当するなど幅広く協会活動に協力され、免震建物等の普及・発展に貢献された。